

## 特別講演

### 演 題

# 大学における教養教育をどう考えるか —専門分野を超えた学びを実現するカリキュラム設計と組織運営—

講 師：東京科学大学 リベラルアーツ研究教育院 准教授  
岡田 佐織先生  
(おかだ さおり)

#### 〔講師紹介〕

東京科学大学リベラルアーツ研究教育院准教授。2019年5月より現職。前職では、ベネッセコーポレーション大学事業部およびベネッセ教育総合研究所において学生調査やアセスメントテストの設計・分析・報告、大学FD・IRに関するコンサルテーション、汎用的能力育成のための教育プログラムの開発・研究等を行う。専門は教育行政学、高等教育学。著書に『大学IRスタンダード指標集』（玉川大学出版部、共著）、『多面的な入試と学修成果の可視化』（追手門学院大学出版会、共著）などがある。



#### 【講演要旨】

「VUCA 時代において教養教育がこれまで以上に重要となる」「ビジネスパーソンにとってもリベラルアーツを学ぶことは有益である」といった声が産官学から上がり、大学における教養教育への期待が高まってきています。その一方で、いざ教養教育を実施しようとするれば、さまざまな困難が待ち受けています。例えば、専門教育との軋轢、学生のモチベーションを高める授業・カリキュラム設計や評価の実施、担い手となる教員組織の運営などです。特に、専門教育の学習負荷が高く、専門を深く学ぶことへの学生の志向性が高い場合、その困難の度合いは増すことになります。

東京工業大学（現・東京科学大学）では、2016年に教養教育改革を行い、学士課程から博士課程までを貫くりベラルアーツ教育（※）を強化しました。新カリキュラムの立ち上げから安定運用への転換期を経てもなお、上述したような困難に直面しつづけています。さらに、現在は、東京医科歯科大学との統合に伴う新たな挑戦も控えています。本講演では、これまでの実践の成果と課題を紹介するとともに、これらの実践から見てきた、専門分野を超えた学びを実現するカリキュラム設計と組織運営の要諦について、総合大学と単科大学の違いや学問分野による課題の特性も踏まえながら、考察を深めたいと思います。

（※）参考資料 [https://educ.titech.ac.jp/ila/education/core\\_liberal\\_arts\\_education.html](https://educ.titech.ac.jp/ila/education/core_liberal_arts_education.html)